

平成 18 年 4 月 14 日

各 位

株式会社りそな銀行

「美しい大阪をつくる 100 万本のバラの会」事業への協力について

株式会社りそな銀行（社長 野村 正朗）は、大阪府や大阪市が協力する「美しい大阪をつくる 100 万本のバラの会」事業（実行委員長 寺田千代乃）の趣旨（ 1）に賛同するとともに、当事業への協力をりそな銀行が展開する REENAL プロジェクト（ 2）の 1 つとして位置づけ、本日より下記の施策を実施してまいります。

- （1）大阪府下の営業店（109 カ店）に募金箱を順次設置し、「1 人 100 円で 100 万人が参加する運動」に協力します。また、当社が開催するセミナーやコンサート等のイベント会場においても募金箱を設置いたします。
- （2）「REENAL × ROSE」と題し、大阪府下の店舗を、「バラ」をテーマにフラワーコーディネーター、フラワーショップ、フラワースクールなどの作品発表の場として提供してまいります。
- （3）当社が持つ独自媒体である、web サイトの REENAL.net (<http://reenal.net/>)、フリーペーパーの REENAL digmeout EDITION 及び Reenal リビングを活用したプロモーション協力も積極的に行って参ります。

りそな銀行は、今後も地域が活性化する取り組みに積極的に協力してまいります。

（ 1）「美しい大阪をつくる 100 万本のバラの会」事業趣旨

平成 18 年 5 月、バラ文化を通じた国際交流や、国際都市「大阪」の魅力を世界に発信する「世界バラ会議大阪大会 2006」がアジアではじめて大阪市内で開催されます。これを機に、大阪に培われてきた自治自律の精神によるまちづくりの一つの手法として、「美しい大阪をつくる 100 万本のバラの会」をスタートさせ、大阪に住み、働き、憩う人々自らの手で未来の美しい大阪をつくる市民運動を展開していきます。

当活動は、美しい大阪と未来の大阪に住まう子供達のために、善意の募金を集め、市民、企業市民をはじめ大阪を愛する人一人ひとりが、身近な場所で、例えばバラを育成しバラの花が咲くまちなみを創出すること、バラの絵画や押し花を飾ること等バラを親しむライフスタイルをつくりあげる気運を高めていくとともに、市民の力でバラの花が咲く美しいまち大阪の魅力を内外にアピールする機会として集客観光に寄与するものです。

（ 2）REENAL プロジェクト

りそな銀行の「RESONA」と地域を表す「REGIONAL」を組み合わせた造語。りそな銀行が中心となって、企業や地域とのコラボレーション企画を展開し、新しいマーケットを創造することを目的としたプロジェクトの総称。FM802 アートプロジェクト「digmeout」とのコラボレーション企画「RESONART」や天神橋筋商店街まちおこし共同企画など、ラジオ番組・フリーペーパー・Web サイトなどのメディアをミックスさせ、様々なコラボレーションを展開しています。

以 上